

清水寺の観音に、一人の女
(前シテ)が参籠して
面：曲見



前シテ：
千満の母



彼女の子、千満は、
行方しれずになつて
久しく、彼女は子に
引き合わせ給えと



子どもに会いたい
なら、三井寺へ
行きなさい



彼女が、夢占いをする清水寺の
門前の者(アイ)に、自分が見た
夢の話をすると、彼はまさしく
めでたい霊夢だと、勧められ
るまま、母は三井寺に向かいます。

後見が鐘樓の作り物を角へ出します。



子方：幼子



園城寺の僧が、
弟子の幼い子を
連れて登場します。

ワキ：園城寺
の住僧



八月十五日の夜、
彼等は講堂の庭に出て、
月を眺めることにしました。



寺の能力(アイ)が、
幼い人の慰めにと
舞を舞います。



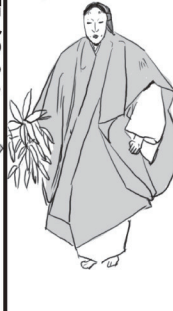
向こうの方が騒がしくなってきた
ので、何事かと思うと、面白き
女物狂がやってくるこのことで。

能力は、子どもに見せようと、
無用だと言う僧を押し切つて、
物狂いを中へ迎え入れます。



後シテ：
女物狂

この物狂は、千満の母で、わが子の
行方を求めつつ、都から三井寺まで
来たのです。都から三井寺まで
能力が後夜の鐘を撞くと、物狂は、



謂れのある
鐘なので、
龍女成仙の
縁にあらや
と云い、
鐘を撞こう
と云い、
住僧は、狂人の身で
どうして鐘を撞くのだ
と制止しますが、
物狂は、許しを乞
いながら鐘を撞きます。



そして、和漢の鐘にまつわる詩歌を
引用しながら、月を眺めます。



あの物狂の
出身はどこか、
尋ねて下さい



それまで黙っていた
幼子、
物狂の
郷里を
ほしね
僧に頼みます。



その声は
千満！

清見が関のすか
出身なのですか



二人は、ついに
再会を果たし

再会を喜んだ
母と子は、
故郷に
帰りました。

